作成日 2018 年 12 月 14 日
改定日 2024 年 11 月 15 日

安全データシート

1．　製品及び会社情報

製品名	：	壁ボード用接着剤 変成シリコーン系
会社名	：	株式会社MonotaRO
所在地	：	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183　リベル3階
担当者名	：	商品お問合せ窓口
電話番号	：	0120-443-509
FAX番号	：	0120-289-888
緊急連絡先	：	所在地と同じ
整理番号	：	M241119

2．　危険有害性の要約

GHS 分類

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）（全身毒性、中枢神経系）	区分 2
特定標的臓器毒性（反復ばく露）（血液系）	区分 2

GHS ラベル要素

注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激（H88） 生殖能または胎児への悪影響のおそれ（H97） 全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ（H371） 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ（H373）
注意書き	非該当
安全対策	環境への放出を避けること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託すること。

3．　組成及び成分情報

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号	CAS 番号
イソプロピルアルコール	1.5%	（2）-207	67-63-0
有機スズ化合物	0.20%未満	登録済非公開	登録済非公開
粘度調整剤	5～15%	登録あり	非公開

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	1成分形変成シリコーン系接着剤
分類に寄与する不純物、および安定化添加物	不純物としてトリブチルスズ化合物（1ppm 未満）を含有。

4．　応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと、コンタクトレン

ズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護　救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

5．　火災時の措置

消火剤　大量の噴霧水を放出する。水がないときは二酸化炭素、粉末消火剤、あるいは土を用いる。

特有の危険有害性　可燃性物質：燃えるが、容易に引火しない。

特有の消化方法　ガスの滞留しない場所で風上より消化し、漏洩防止処置を施す。

消火を行う者の保護　消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服を着用する。

6．　漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置　関係者以外には近づけない。漏洩場所を喚起する。漏洩物に触れたりその中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具（『8.暴露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、目、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項　環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。希釈水は汚染を引き起こす可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　危険でなければ漏れを止める。少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収する。大量の場合盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策　排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7．　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。『8. 暴露防止及び保

護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱対策　換気のいい場所で取り扱うこと。眼、皮膚又は衣類に付けないこと。取扱後はよく手を洗いうがいをする。火気厳禁。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避　『10.安全性及び反応性』を参照

衛生対策　取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件　通気の良い 5℃～25℃（一時的に超えても 35℃以下厳守）の屋内冷暗所にて保管すること。湿気厳禁、日光から遮断すること。容器を密閉して保管すること。品質保証期間製造後 1 年（上記環境下での保管の場合に限る)。

安全な容器包装材料　包装、容器の規制はないが、湿気を通さない密閉式の破損しないものにいれる。

8．　暴露防止及び保護措置

化学名又は一般名	濃度基準	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
イソプロピルアルコール	設定されていない	200ppm	400ppm	TLV-TWA　200ppm
有機スズ化合物	設定されていない	設定されていない	未設定	TLV-TWA 0.1mg/m3 (Sn)TLVSTEL0.2mg/m3(Sn)

設備対策　換気をしながら使用すること。本製品を貯蔵または使用する設備は局所換気設備、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具　作業者がガスや上記にさらされる場合有機ガス用防毒マスクを使用する。

手の保護具　必要により不浸透性の保護手袋を使用する。

目の保護具　必要により適切な眼の保護具（普通眼鏡型、側

	板付き普通眼鏡、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	長袖作業服。必要により不浸透性の保護服および保護長靴を使用する。

９．　物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	固体
形状	ペースト状
色	ホワイト
臭い	微臭
ｐH	データ無し
融点	データ無し
凝固点	データ無し
沸点	データ無し
引火点	100℃以下（セタ密閉式）
自然発火点	データ無し
分解温度	データ無し
可燃性	データ無し
爆発限界（vol%）	データ無し
蒸気圧	データ無し
相対密度	データ無し
密度	1.40～1.60 g /㎤
相対ガス密度	データ無し
溶解度	水に不溶。ﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ＭＥＫ等多くの有機溶剤に可溶。
ｎ-オクタノール/水分配係数（Ｌｏｇ Ｐｏｗ）	データ無し
動粘度（動粘性率）	データ無し(粘度：200～600 Pa・s)
粒子サイズ	データ無し
粒径分布	データ無し
粒子形状	データ無し
粒子アスペクト比	データ無し
粒子比表面積	データ無し

１０．　安全性及び反応性

反応性	空気中の水分と反応する。
化学的安定性	通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	開封すると空気中の水分と反応し、徐々に硬化する。

避けるべき条件	データ無し。
混触危険物質	酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	燃焼などにより CO 等の有害ガスを発生する恐れがある。

１１．　有害性情報

急性毒性	
**　経口**	分類できない。
**　経皮**	分類できない。
**　吸入（気体・蒸気）**	分類できない。
**　吸入（粉じん・ミスト）**	分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	目刺激。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ。
誤えん有害性	区分に該当しない。

※本製品は混合物(固体)であり飛散しない。従って、
含有する有機溶剤以外は経皮・吸入を考慮する必要が無い。
以下の有害性情報は、分類できないとした。
・経皮
・吸入（粉じん・ミスト）
・皮膚腐食性及び皮膚刺激性
・呼吸器感作性又は皮膚感作性

１２．　環境影響情報

生態系一全般	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるため取り扱いには注意する。
水生環境有害性　短期（急性）	分類できない。
水生環境有害性　長期（慢性）	分類できない。
残留性・分解性	データ無し。
生体蓄積性	データ無し。

土壌中の移動性	データ無し。
オゾン層への有害性	分類できない。
その他	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるため取り扱いには注意する。

１３． 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類に該当する。乾燥硬化後、最大径１５㎝以下に粉砕、切断して埋立処分するか、都道府県条例等に基づく焼却処理か、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規に定めるところに従う。

１４． 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
品名（国連輸送品名）	非該当
クラス	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報	該当しない。
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法毒劇物取締法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。
輸送時の安全対策及び条件	運搬に際しては、容器に漏れがないことを確かめる。容器の転倒、落下、損傷等のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。他の化学品と接触させない。下記適用法令に則り行うこと。

１５． 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は、通知すべき危険物及び有害物 法第 57 条 1 及び 2、施工例第 18 条 1 及び 2 別表第 9 第 322 号（すず及びその化合物）0.3%（代表値）

有機溶剤中毒予防規則	第 494 号　（イソプロピルアルコール）1.5%
消防法	（代表値）
PRTR 法	がん原性物質：該当しない
輸出貿易管理令	皮膚等障害化学物質：該当しない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない。
	指定可燃物（可燃性固体類）
	該当しない。
	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項
	産業廃棄物

１６．　その他の情報

危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。
以前お渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄してください。
法改正や製品の改正によりＳＤＳを改定する場合がありますので、改定日より 2 年以上経過しているものについては最新版であるかどうかご確認ください。

ホルムアルデヒド放散量区分：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための
自主管理規定 JAIA－014771 Ｆ☆☆☆☆

４ＶＯＣ放散速度基準：日本接着剤工業会自主管理規定 ＪＡＩＡ－508361（登録番号）
４ＶＯＣ基準適合

免責事項

当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わず、いかなる保障をするものではない。製品の取り扱い、使用、保管又は廃棄条件、海外輸送といった事象は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがあるため、製品の取り扱い、使用、保管、または廃棄によって生じる損害、損失または費用に対する責任は、直接、間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

【参考文献】

１）原料メーカーのＳＤＳ
２）安全衛生情報センターのＧＨＳ分類結果データベース
３）製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）のデータベース
４）「製品安全データシートの作成指針（改訂２版)」(日本化学工業協会)
５）「労働安全衛生法ＭＳＤＳ対象物質全データ（改訂２版)」(化学工業日報社)
６）JIS Z 7252:2019 および JIS Z 7253:2019

※ 本「安全データシート」は、当社の製品を安全にご使用していただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。※ 記載内容のうち、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は、代表値であって保証値はありません。※ 本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。※ すべての化学品には未知の有害性がありうるため、また危険・有害性の評価も必ずしも十分でないため取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任に於いて、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

改定履歴

2018 年 12 月 14 日作成

2024 年 3 月 14 日　GHS 分類の見直し。労働安全衛生法 R6.4 施行内容反映。

2024 年 11 月 15 日　GHS 分類見直し。